

相崎佐和子のこれまで



▲こちらの冊子は右記アドレスから閲覧できます。 <http://www.sawako-aizaki.com/news15.pdf>

2期目の通信簿 ~4年前の「ビジョン2011」はどうなった?~

◎: 著しく取り組みが進んだもの ○: 一定の推進がみられたもの △: 要望するも現状維持だったもの ×: 後退したもの

項目		評価	達成状況
子育て・教育	就学前施設	新しい保育所の誘致	◎ 私立保育所5ヶ所(※2ヶ所は予定)がオープン。
		認定こども園の推進	○ 「伊丹市立神津こども園」がオープン。私立も3園がこども園に。
	親子スペース	むくむくルームの拡充	◎ 8ヶ所目が開設。中学校区1ヶ所という目標達成。
		親子サークルの充実	△ 保護者仲間と立ち上げた3サークルを継続中。
	学力向上	習熟度別学習の検討	△ 10校の小中学校で実施。状況を鑑み拡充との答弁あり。
		オリジナル補習の推進	○ 全ての小中学校で土曜学習開始。
	発達障がい児支援	特別支援人員の拡充	○ 市相談員は増加するも、各校の人員拡充には至らず。
		発達支援センターの設置	○ 障がい児の総合支援センターとしてH28年4月に開設予定!
	虐待防止	相談窓口の充実	○ 窓口ふくめ、防止キャンペーンや学校園との連携など質的に充実。
		支援員の拡充	△ 大幅増員はないものの、増加する通報件数にはきめ細かく対応。
福祉	高齢者住居	高齢者住宅等の誘致	○ 行政主導の誘致ではないものの、市内に増加中。
		グループホームの充実	○ この4カ年で4ヶ所がオープン。今後も計画中。
	孤立死防止	対応マニュアルの作成	○ 現在作成中。H27年度に完成予定。
		発見システムの構築	△ 民間事業所(新聞配達・ガス会社等)との連携継続中。
	ボランティア	ボランティアセンターの拡充	○ 4年間で2小学校区が設置し、現在10小学校区に。
		コーディネートの工夫	△ ボランティアセンターを中心に推進中。
	障がい者雇用	企業への呼びかけ	△ ハローワークとの連携を通して法定採用数の確保を推進。
		行政での採用	○ 一般的の就労は法定数以上が就労。福祉的就労は工賃アップキャンペーンを実施。
	ワークライフバランス	講座の開催	△ 各施設などが独自で実施。今後は主体的に進めたい。
		優良企業のバックアップ	○ 「男女共同参画推進事業所表彰」としてこれまで8企業を表彰。
まちづくり・住民自治	市民イベント	市民主催イベントの支援	○ 中心市街地を中心に、市民主催イベントが充実。
		市民事業の誘致	△ 市民から希望のあった講座を開催。
	広報	メディアのフル活用	○ SNS(フェイスブック・ツイッターなど)の運用開始。
		「いたみん」の活性化	× 運営は民営化。任せっぱなしで活性化に寄与できず。
	市民参画	政策検討の場への市民参画	○ 当事者の意見を反映させる事例は増加。
		計画進捗の市民チェック	○ 総合計画をはじめ各種計画のチェック委員会が発足。
	地域活性化	地域の特色づくり	○ 各地域が経費の使い道を決定する地域提案制度を導入。
		補助金などの一本化	○ 補助金によっては申請書類を一括化。一括交付金は来年度以降で取組予定。
	市立伊丹病院	改革プランのチェック	○ プラン通り黒字化達成。
		特色づくりの支援	○ ガン診療連携拠点病院に。周産期医療でも拠点病院へ。
医療・危機管理	健康づくり	予防事業の推進	○ 健康体操の拡充、健康遊具の設置など幅広く実施。
		AEDの利活用	○ 提案していた「イベント時のAEDレンタル」が実現。
	防災	助け合いシステムの徹底	△ 要援護者システムの改善を図るも現状維持。
		福祉避難所の拡充	○ 1ヶ所増加し、現在市内6ヶ所に。
	歳入アップ	税等の徴収率アップ	○ 諸施策の実施により徴収率が県下No1。(H25年度決算)
		広告料収入の推進	△ 小規模な導入はあったものの、大規模な推進には至らず。
	歳出ダウン	事業の見直し	△ 当時流行の「事業仕分け」は未実施も、毎議会で厳しくチェック。
		市民意見反映の場	○ 行財政審議会を設け、財政の新計画を検討中。
	情報公開	広報紙でのPR	○ 広報紙での財政特集は分かりやすく工夫。PR冊子やDVDも作成。
		ホームページ公開の工夫	○ 情報は原則全て公開。分かりやすさを追求。

さらにこんなことも 実現



児童くらぶの改善

- 保護者ニーズが高かった4年生以降受け入れ、H27年4月より順次開始。
- 夏休みなどの開所時間の前倒し、訴え統合してH26年夏休みより8時15分～に。
- 各くらぶで固定電話1台だったのを憂慮し携帯電話支給を提案。H25年度～支給。

自転車条例の策定

- 「サワコの茶話会」(ページ下記参照)にて提案を受けたことを機に独自で調査。議会で提案したところ各方面から賛同を得て、H26年4月に「自転車の安全利用に関する条例」を策定。市民意見が実現した好例。

自転車教室の実施

- 自転車の安全利用について市が進める中、住民からも「地域で自転車教室をしたい!」との声が上がる。自動的に声が上がることに感動して相崎も開催に尽力し、2件の自転車安全教室が地域で実際に開催。

たんぽぽの相談員増加

- LD(学習障がい)・ADHD(注意欠陥多動性障がい)などの“発達障がい”。市が設置する発達障がい児の相談支援所“たんぽぽ”にて、相談件数が急増しパンク状態などを憂慮し、相談員増加を強く議会で要望。数名増員が実現。

これらは相崎個人で
実現できたわけではありません。
多くの人と協議を重ねた
結果です。

給食の放射線量チェック

- 東日本大震災の放射線汚染を憂慮し、保護者を中心に「小学校給食について放射線量チェックをしてほしい」との強い要望があがる。議会にて方法や経費をふくめ具体的に要望。県事業を活用し実現。

ミニ防災マニュアルの全戸配布

- 防災マニュアルについて「冊子や大地图に記載しても、最初に確認したあとは片付けてしまう。冷蔵庫に貼れるようなミニ防災マニュアルを!」と自身の感覚をふまえて有効性を訴える。実際に作成され全戸に配布される。

債権管理の強化

- 「伊丹市の税金等の滞納総額、約59億円! (H22年度決算)」なる事態を憂慮し、滞納対策と債権管理を議会などで随時提案。H25年4月に「債権管理条例」が施行。専門の債権管理課が発足。県下で徴収率ナンバー1 (H25年度決算)。相崎は「債権管理・滞納対策に最も詳しい(ウルさい?)議員」に。

むっくむっくルームの拡充

- 親子が気軽に足を運び、遊んだり喋ったりできるフリースペース「むっくむっくルーム」。自身の経験から必要性を深く実感し、議会で力強く提案。“中学校区に1ヶ所(ベビーカーを押して歩いていける距離)”なる数値目標を達成。

これらをお伝えするために

ブログ

ほぼ毎日更新!
フェイスブックやツイッターも!

あいざき佐和子の
議員活動日記

2015.02.02 (Mon) 18:28

活動報告ニュース 「ITAMI大好き!」

毎月発行! 市内全戸にポスティング!

駅前での手配りも!

「サワコの茶話会」

皆さんのお声を聞く“茶話会”を
定期的に開催!



相崎佐和子の これから



伊丹は “悪くないけど” 普通?!

みなさん伊丹をどんな街と感じておられますか？私は“住みやすい街だな”と感じています。大阪や神戸に出やすく便利、昆陽池などの自然が豊か、街の人々は優しく温かい・・・いい街です。

ただ、各市町が住みやすさをPRする“都市間競争”的今、伊丹が“住みやすさ”で突出している

かというと、そこまでは至っていないのが現状ではないでしょうか。伊丹は“住みやすい”という大きな魅力・ポテンシャルを有しているのに十分に発揮できておらず、「悪くないけど普通」に留まっている気がしています。私はこれが大変悔しいです。

↓ そこで相崎は提案します

「住みたい街・住み続けたい街 ナンバー1」に！

そこで私は、伊丹を「住みたい街・住み続けたい街 ナンバー1」にしたいと強く考えています。伊丹はナンバー1になれるし、なれる力を持っていると確信しています。“伊丹だから住みたい、住み続けたい！”と心から思ってもらえる街にしたいのです。

↓ 具体的にこれを進めます

伊丹のウリは「子育て教育」「医療福祉」「安全安心」だ！

では“伊丹がナンバー1”になるには、具体的に取り組めばよいのでしょうか。私は「子育て・教育」「医療・福祉」「安全・安心」の3本柱で進めるべきと考えます。この3本を徹底的に強化することで、「住みたい街 住み続けたい街 ナンバー1」を目指します。伊丹は必ずナンバー1になります！

子育て・教育

現在2人の子どもを育てている私は、多くの子育て仲間と出会いました。今でも仲良くさせてもらっていますが、中には途中で市外へ転居される方もおられました。理由は様々でしたが、「〇〇市の子育て・教育の環境が良いみたいだから」という方も。私はこれが残念でなりません。より多くのみなさんに「伊丹で子育てしたい。伊丹の学校に通わせたい」と思っていただきたい。人口増加・地域活性化・税収増加の観点からも、若い世代に伊丹に住み続けていただくのは重要なポイントですが、それには「子育て・教育」がどこの市町にも負けないくらい充実することが必要です。「子育て・教育」ナンバー1の街を目指します。

医療・福祉

今度は高齢者や障がいをお持ちの方を考えてみます。「どこに住もうか」「老後をどこで過ごそうか」と考えたとき、一番の判断ポイントは「医療・福祉がどれだけ充実しているか」ではないでしょうか。

福祉は生きていく上で一番基礎の部分を底上げするものであり、福祉の充実は高齢者や障がいをお持ちの方はもちろん、すべての人がよりよく生活できることに繋がります。口だけの「福祉の充実」ではなく、具体的な取り組みをしっかりと重ねていくことで、「医療・福祉」ナンバー1の街を目指します。

安全・安心

市会議員をさせてもらっていると、日々いろいろなお声をいただきます。その中でダントツに多いのが安全安心に関することです。「災害時の避難方法は?」「通学路の安全確保は?」「ひったくり防止策は?」・・・みなさんの関心の高さを実感しています。安全安心の確保は、行政の最大の責務です。伊丹に住むわたしたちが安心して安全に暮らし、豊かな人生を送るために、「安全・安心」ナンバー1の街を目指します。